

よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

蔵通信

八号

2007. 8

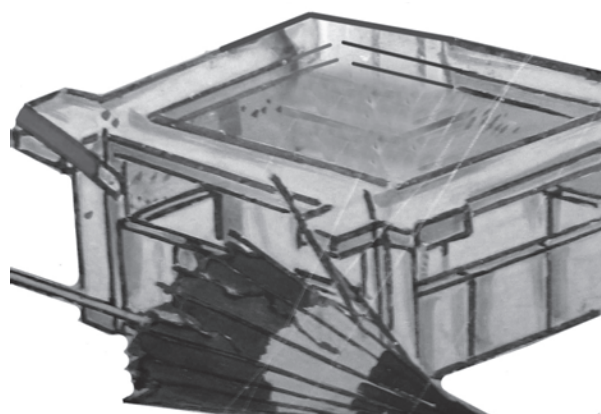
第七話

いちまあい、にまあ

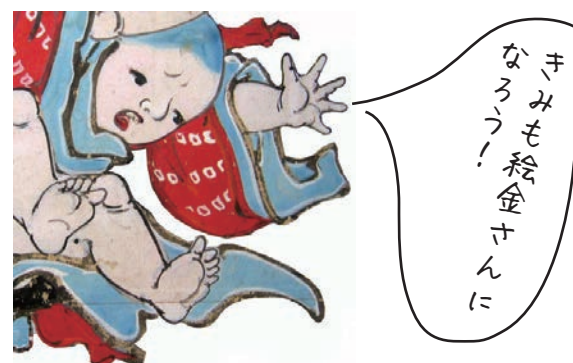
絵金百話

シリーズ

発行：絵金蔵運営委員会
発行日：2007年8月1日
〒781-5310
高知県香南市赤岡町538
Tel.Fax 0887-57-7117
ekingura@mxi.netwave.or.jp
http://www.ekingura.com/



INFORMATION



絵金蔵ワークショップ第一弾

絵金うちわ作り

日時 8. 26 [日]
午前10:00～
場所 弁天座2F 活動支援室
内容 絵金の絵を和紙に模写し、うちわに貼ってお持ち帰りいただきます。
対象 小学生とそのお父さん、お母さん
参加料 500円(材料費込)
☆ 絵金蔵までお申し込みください。

2007 August from Italy

Guitar Mandolin Duo Recital

長岡克己 & カルロ・アオンゾ

現代のイタリア・マンドリン界で最高の技術、表現力を持つ奏者のひとり、カルロ・アオンゾと高知県生まれのギター奏者、長岡克己のクラシック、デュオコンサート。長岡克己氏は数々の国際コンクールで上位入賞を果たした実力派。蔵ならではの雰囲気と音の響きを、おいしいお酒とともに、是非ご堪能あれ！

日時 8. 19 [日] 午後6:30(開場6:00)～
場所 絵金蔵
料金 3,000円(全席自由)
チケットのお求めはお電話かファックス、Eメールで。
[絵金蔵] Tel/fax 0887-57-7117
ekingura@mxi.netwave.or.jp
カウンターバー付き 地酒やビール、ワイン、ソフトドリンクをご用意。
お帰りには「ごめん・なはり線」をご利用ください。
主催：岡崎貴美子 *未就学児の方の入場は不可となっています。

弁天座落成記念

土佐絵金百物語 公開録音

日時 8. 29 [水] 午後6:30(開場6:00)
会場 弁天座
放送予定 9月
お問い合わせ NHK高知放送局 Tel 088-823-2300



◇怪談「播州皿屋敷」
講師／一龍斎 貞水(人間国宝)
◇トークショー「怖いものと人間」(仮)

[絵金蔵]

開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時半まで)
観覧料
大人500円、高校生300円
小・中学生150円
(15名以上の団体は各50円引き)
休館日
毎週月曜日
(月曜が祝日の場合は火曜)
12月29日～1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵(通称・絵金)。彼は土佐各地の祭礼に多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成17年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。

絵金蔵の三つの使命

年一度の絵金の文化を
守るため
伝承
：次の世代へ
伝えるため
縁結び
：地域を超えて
世代を超えて



平成19年7月21・22日

絵金祭り点描



▲ 赤岡町本町通りから絵金蔵、弁天座に入る細い路地。祭りの夜には絵金の絵をモチーフにした町の奥さんたちお手製の赤や黄色の回り灯籠が点々と道を照らします。

▲ 絵金蔵の向い、弁天座に立ち並び幟の数々。フラフ制作で知られる香我美町吉川染物店が15本すべてを手掛けました。鮮やかで濃密な色彩がはたためく様子は圧巻。

▲ 絵金蔵第2展示室、蔵の穴の特別展示を覗く人々。今年は春野町から「笑い絵」をお借りしました。

▲ 島崎米穀店の前の黒山の人だかり。今年も町に来て下さった高知県立美術館学芸員、後藤雅子さんの屏風絵解説に聴き入っています。

▲ 絵馬提灯に見入る子どもたち。

▲ 赤岡町横町通りにある菓子処西川屋の店先にて。普段は開けていませんが、祭の夜は特別。県下各地の西川屋さんの出発店となったお店です。

▲ 絵金蔵の夜間開館に訪れる人々。今年は両日合わせて500人近い方が来て下さいました。

▲ 日が暮れ始めると、ぼつぼつと屏風絵が町に並びはじめます。のんびりと談笑しながら絵のお守をする店主たち。

▲ こんな近くで観られます。

絵金百話

第七話 いちまあ〜い、にまあ〜い

ばんしゅうさきやしき てっざんしもやしき
播州皿屋敷 鉄山下屋敷

概要

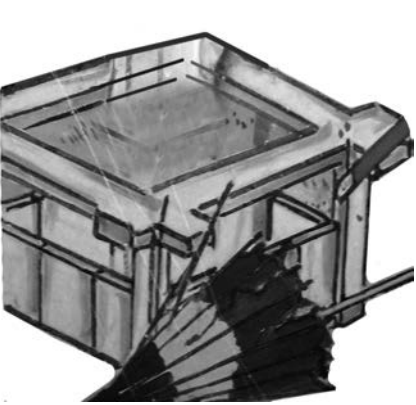
井戸のなかから皿を「一枚、二枚…」と数え、「…九枚、一枚足りない。」と恨めしげな声で語るお菊の亡霊で有名な怪談話。この怪談は伝説として全国各地に伝播しており、近代に至るまで随筆や小説、浄瑠璃や落語などに取り上げられ様々な解釈や脚色が加えられてきました。人形浄瑠璃『播州皿屋敷』はこれらの作品のなかの代表格のひとつで、作者は為永太郎兵衛・浅田一鳥、寛保元年（1741）7月大阪・豊竹座で初演されました。

本作の舞台は室町時代、応仁の乱を引き起こしたことで知られる山名氏と細川氏との対立をからめてストーリーが展開していきます。山名宗全と通じている細川家の家老青山鉄山は主家の横領を企て、城主細川巴之介を毒殺しようと計画を立てます。ところが、この話を細川家に仕えるお菊に立ち聞きされ、鉄山はその口封じに重宝の十枚揃いの唐絵の皿一枚を隠し、その罪をお菊になすりつけ、惨殺してしまいます。その後お菊は投げ込まれた井戸から幽霊となってあらわれて皿の数を数え、夫舟瀬三平が鉄山から皿を取り戻したのちも鉄山を苦しめついには切腹に追い込み、報復を果たすという内容となっています。

伝説の舞台となった播州、現在の兵庫県姫路市、姫路城の二の丸にはお菊が投げ込まれたという「お菊井戸」が伝えられており、姫路市内にはお菊の霊を祀ったお菊神社も残されています。こうしたお菊伝説はここ土佐にも伝播し、県西部幡多郡や赤岡にも近い南国市などに伝えられ、広く知られた物語であったことがうかがえます。

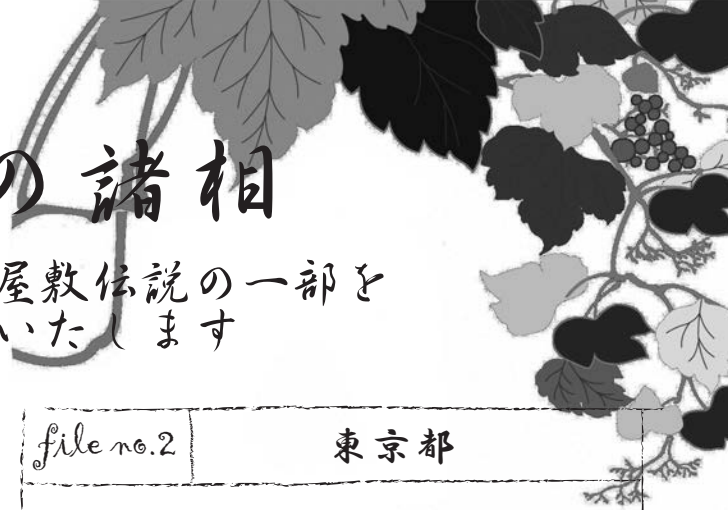
絵金は二人の男に責められる哀れなお菊、そして復讐を果たし憎い相手の首を手にしてニヤッと笑う凄味をおびた恐ろしいお菊を同時に一枚の絵に描いています。今回はこの「播州皿屋敷 鉄山下屋敷」（赤岡町横町二区所蔵）の一枚をご紹介します。





伝播の諸相

各地に広がる皿屋敷伝説の一部を
ご紹介いたします



絵金蔵がで・き・る・まで☆

partⅡ 「赤岡探偵団」編

平成17年2月11日にオープンした絵金蔵はまだ2歳と少し。
ここに至るまでには話せば長い道のりがありました……。
まちづくりをめぐる、さまざまなディスカッションを重ねてきた
地域の人々のユニークな試みをご紹介します。

ワシにも
逢えるぜよ！



file no.1	兵庫県尼崎
尼崎城主、青山播磨守の家臣、喜多玄蕃の屋敷に奉公していたお菊は、主人の食事に針が入っていたことを理由に折檻され、井戸に投げ込んで殺された。そのちお菊の母も後を追って井戸に身を投げた。 その後、この古井戸に後ろ手に縛られ、足を縮めた形をしたお菊虫が大量に現れ、玄蕃の家を呪ったという。 (蜀山人『石楠堂随筆』)	

file no.2	東京都
江戸番町の旗本青山主膳は性格が粗暴なことで知られる。ある時、秘蔵の高麗皿を侍女お菊が過って割った際、十枚揃いのうちの一つを損じたからとお菊の右手の指一本を斬った。また主膳の妻もお菊を打ち殴ったという。お菊は二人を深く恨んで古井戸に飛び込み、自殺した。 その後生まれた主膳の子は指が一本足りなかった。また井戸からは毎夜皿を数える悲しい泣き声が聞こえ、青山家に仕える者は逃げ去ったと伝える。 (『孝経楼漫筆』巻之三)	

file no.3	高知県
高知県最西端、宿毛市湊浦の庄屋三左衛門の秘蔵の皿十枚のうち一枚を過って割り、責め立てられた下女は首を吊って死んだ。その後皿を九つまで数えてわっと叫ぶ亡霊が毎夜現れた。ある日、播州からきた修験者がこれを鎮めたが、庄屋は三左衛門一代で絶えたという。 また同じく本県西部の幡多郡西土佐村(現、四万十市)奥屋内では、庄屋の甥鉄三郎の悪計によって皿の行方を詰問されたお菊が滝に投身し、その遺骸が皿の数を数え、鉄三郎は狂乱の末妻子までも刺殺してしまったと伝える。同村黒尊川にはお菊の滝があり、近代のものではあるが皿を抱いた石造のお菊観音が祀られている。 (『高知県百科事典』高知新聞社) その他、南国市小笠の春喜神社にも皿屋敷伝説が伝わる。 (関富次『南国市の民話と伝説』南国市教育委員会)	

file no.4	埼玉県行田市
昔当地で評判の美しく、気だての良いお菊という娘がいた。その評判を聞いた殿様の家老職を務める山田家に依頼され、お菊は山田家に奉公することとなる。奉公先では主人に気に入られ可愛がられたが、仲間の奉公人たちから嫉妬され、彼らのはかりごとによって主人の膳に針を入れたという無実の罪を着せられ、百足や蛇を入れた箱に裸で入れられるという虫責めの刑で殺されてしまう。 その後山田家では思わぬことで主人が切腹を命じられ、家中の者が原因不明の病に倒れるなど、不幸が続いた。そこで山田家はお菊の霊を慰めるため稲荷明神を勧請し、お菊稲荷と呼んで崇拝したと伝える。 (『ふるさとの伝説3 幽霊・怨霊』ぎょうせい)	

路地裏には不思議がいっぱい

赤岡探偵団
登場！

町づくりプランが様々に練られていた頃、具体的な活動案として、町の人たちがいつもと違った視点で自分たちの住む町の不思議(魅力)を探し出そう、という企画が生まれました。



1998年7月、路上観察学会で知られる赤瀬川原平氏、藤森照信氏、南伸坊氏、林丈二氏らを招き、各氏を団長として町の人々はカメラ片手に町歩きをはじめました。



翌日にはさっそく、各自の撮った写真をスライドにして鑑賞する「赤岡不思議幻灯会」を開催。



参加者の感想は…
「ちょっと見方を変えたただけなのに、白黒からカラーに変わってしまったような感じ。この感激をこどもたちに伝えたい。」
「あっと驚く発見。面白いもの、宝物があちこちに埋没していた。歩けばいろいろ見えてきます。」

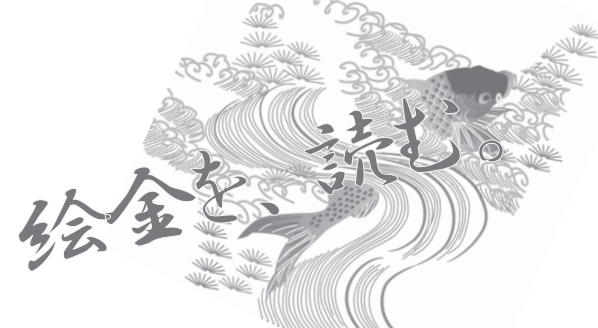
shop information

ボラちゃんの新グッズ、好評発売中！

金魚袋

今年の絵金祭りの日に登場したワタシ。
絵金蔵のボランティア(通称ボラちゃん)の手から生まれました。最近仲間が増えて、ぽっちゃりした子やカラフルな子などが勢ぞろい！
みんな、会いにきてえ～





ばんしゅうさらやしき 播州皿屋敷

てつざんしもやしき 鉄山下屋敷

二曲一隻屏風/紙本著色/154.0×174.0cm
赤岡町横町二区所蔵

— あらすじ —

播州姫路城主、細川巴之介は將軍に代々家宝とする十枚揃いの唐絵皿を所望されるが、父の遺言により断ったため勘気を受け、家老青山鉄山の下屋敷に隠棲している。この屋敷で巴之介の恋人、遊女玉の井に仕える下女となっているのがお菊、細川家の忠臣舟瀬三平の妻である。主家の乗っ取りをたくらむ青山鉄山は、細川家の唐絵皿を見分したいと望む。その準備が整う間に、鉄山は弟忠太に巴之介を毒殺し、病死を装って殺害する計画を話す。偶然にもこの話を耳にしたお菊が真偽を問いただが、鉄山らはその場を取り繕いごまかす。やがて皿を運んできたお菊が披露する際、その目をぬすんで鉄山は一枚を懷に隠す。皿が一枚足りないことに驚いたお菊は、今一度数を改めさせて欲しいと泣いて懇願するが鉄山はお菊を責め立て惨殺し遺骸を井戸に投げ込んでしまう。その後弟忠太と皿を手に入れ喜ぶ鉄山のもとに度々お菊の霊が現れる。

そんな折、お菊の夫舟瀬三平が鉄山の屋敷を訪れ、三平の働きとお菊の霊によって謀反の一味は滅ぼされる。

巴之介は再び世に出たなら、姫路の十二所権現に菊の霊を祀ろうと約束する。*1。

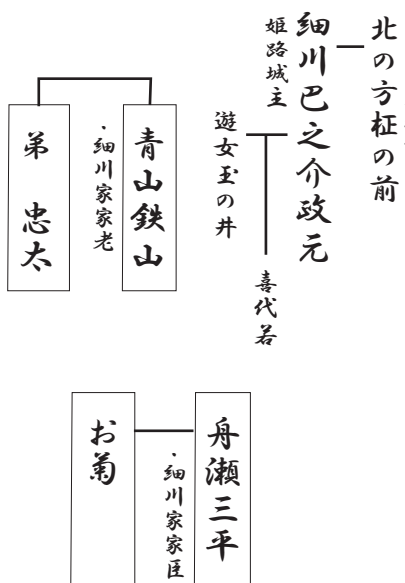
*1 『叢書江戸文庫11 豊竹座浄瑠璃集』国書刊行会 1990年3月

■ エ、大胆な女郎め！
皿をこっそり懷に隠し、無実のお菊を責め立てる青山鉄山。主人毒殺の陰謀を聞かれた以上、もう生かしてはおけぬその心中を表すように左手は大刀を抜き、今にもとびかからんばかりです。



■ 垣間見える本心
兄とともにお菊を責める忠太。その背中の家紋をよく見れば…。忠太はもともとお菊に恋心を抱いており、この隠し絵は忠太の本心、その欲望を表しているとも考えられます。

鉄山下屋敷 登場人物



■ うっふふふ…
鉄山に騙されたことを知ったお菊は各地を転々と逃げ回る鉄山にどこまでもつきまとい、とうとう切腹に追い込みます。鉄山の首を抱くお菊の姿から、高笑いが聞こえてきそう…

■ 亡霊となった妻に
鉄山の首をうち落とし、妻に差し出す舟瀬三平。そばにある高下駄や傘は浄瑠璃の原作にも登場するアイテム。

■ 忠太の末路
鉄山と共に陰謀を謀った弟忠太は三平に頭を割られ、兄より先に最後を遂げます。絵金は主となる場面の前後のシーンを画面上方に描く方法をよく用いています。この異時同図法により画面は奥行きを増し、ストーリー展開をより分かりやすくものにしています。

■ ア、是非もなや…

命が惜しいわけではないが、妻が泥棒となつては後に残された夫がつらい目に遭う。それを思えばたとえ殺されようとも魂は夫に寄り添って皿のありかをつきとめよう。夫に逢えないことを嘆きつつ、この後お菊は鉄山の刃の下に死んでゆきます。

「あら恨めしや鉄山様、其皿を今一度読み改めず殺されし、恨みは誰に報はふぞや。一ツ、二ツ、三ツ」耳を突きぬく計り声を知るべに切払へば、かき消す様に形は失て、くはつと燃へたつ猛火の煙むせんで鉄山かつぱと伏せば「四ツ、五ツ、六ツ、七ツ」重ねし皿はぐはらぐはら。「八ツ、九ツ、ハア悲しや」叫ぶ声音は障子に響いてびりびり…*1

8月の蔵の穴で本物を公開中！



〔参考文献〕
『日本伝奇伝説大事典』角川書店 1986年10月
『叢書江戸文庫11 豊竹座浄瑠璃集』国書刊行会 1990年3月
『歌舞伎事典』平凡社 1993年4月
『絵金展 土佐の芝居絵と絵師金蔵』高知県立美術館 1996年
諏訪春雄ほか『日本怪奇幻想紀行 三之巻 幽霊・怨霊怪譚』同朋舎 2000年9月
『ふるさとの伝説 3 幽霊・怨霊』ぎょうせい 1989年10月